PRESS RELEASE

各位　　2026年11月12日

ヒトと妖異が紡ぐ、一夏の不思議な物語――『タマユラミライ』Switch版 11月26日発売！ 11月12日より10%OFF予約セール＆体験版配信開始！

---

iMel 株式会社（本社：東京都江戸川区、代表取締役：高橋 一穂、URL：https://imel.co.jp/）は、ヒトと妖異と魔法使いが織りなすミステリアス ADV『タマユラミライ』の Nintendo Switch™版を、2026年11月26日（木）より Nintendo Store にて配信開始いたします。

2026年11月12日（木）0:00～11月25日（水）23:59（JST）の予約期間中は、通常価格4,980円（税込）の 10%OFF でお買い求めいただける予約セールを実施いたします。また、予約受付開始と同日の11月12日（木）より、本作の体験版も公開いたします。

Nintendo Switch™版は、日本語・英語・中国語（簡体字）・中国語（繁体字）の4言語によるテキスト表示に対応しており、より多くの方に本作の世界観や物語をお楽しみいただけます。

作品概要

タイトル：タマユラミライ
ジャンル：ヒトと妖異と魔法使いが織りなす ミステリアス ADV
対応機種：Nintendo Switch™
価格：4,980円（税込）
予約開始日：2026年11月12日（木）
予約セール：通常価格より10%OFF
発売日：2026年11月26日（木）
体験版：あり（2026年11月12日公開）
レーティング：CERO C（15才以上対象）
対応言語：日本語・英語・中国語（簡体字）・中国語（繁体字）
音声：フルボイス
提供形態：ダウンロード
配信対象地域：日本・香港

リンク一覧

Nintendo Store：https://store-jp.nintendo.com/item/software/D70010000107382

制作：Azurite

X：https://x.com/Azurite_info

公式ページ：https://www.fanzagames-digination.com/

移植開発・販売：iMel

X：https://x.com/iMelInc

公式ページ：https://imel.co.jp/

権利表記

©2018 Azurite / iMel



■キャラクター紹介

神掛 由岐奈（かみかけ ゆきな）/CV：八ッ橋しなもん



純日本人的な長く黒い髪と、どこかミステリアスな雰囲気をまとう少女。
自信家でクールな思考の持ち主だが、実は寂しがり屋な一面も持つ。
唯一の友人である詩菜とは、いつでも一緒にいたいと願っている。

魔法使いである主人公さえ上回る桁外れの霊力を持っており、
異形の者の姿を見る“鬼見”の力まで持つ。
そのため、一般社会には馴染めずにいる。
しかし主人公と出会ったことで、魔法に興味を持つようになる。

また、オツキサマと呼ばれる、落とし物を探している。

「いるのね……こんな田舎町にも、変態って」

水晶石 みだり（すいしょうせき みだり）/CV：くすはらゆい



見た目は絵に描いたような深窓の令嬢であり、おしとやかなお嬢様。
サキュバスなのにエッチなことが苦手で、
少しでもそういう話になると周りから見てもわかるほど、
真っ赤になって俯いてしまう、貞淑なサキュバス。
もともと淫魔界では貴族の出身ながら、一族にとっては落ちこぼれ。
サキュバスにとっては、死に至る病“恋”に落ちている。

以前、とある事件に巻き込まれたとき、主人公に助けられたことがある。
それからというもの主人公を偉大な魔法使いと信じて疑わず、
押しかけ秘書のようなことをしている。

「だって、せ、先生は私の恩人なんですから」

猫天宮 花子（ねこてんぐう はなこ）/CV：杏花



学校のトイレを掃除しているだけの妖異、いわゆるトイレの花子さん。
ただし、メイド服を着てるせいで『メイドの花子さん』と呼ばれている。
本来は水の神である。
そのため、水場のあるところなら、どこにでも現れる。
いつも眠たげでやる気がなさそうに見えるが、校内の噂話なら、
なんでも知っているレベルで詳しい。

主人公のことは未熟者として軽く見ているのか、
イタズラを仕掛けてくるなど、お茶目なところもある。かまってちゃん。
彼女のデッキブラシは、ある意味、最強の武器。

「男の子はね、女の子のおトイレに入って来ちゃいけないんだよ？」

小伯 白（こはく しろ）/CV：杏子御津



お姉さんぶってくるお茶目なお姉さん……のはずだが、ちっちゃい。
ただし、白姉ちゃんはちっちゃいのにデッカイ！
身長にそぐわぬグラマーな体型をしている。
生粋の地元っ子で、よく方言が混ざったしゃべり方をする。
ただ、本人だけは標準語を話せてるつもり。
また、妖異を見ることができず、魔法についてもさっぱりわからない。
それでもお姉ちゃんはお姉ちゃんなので、
いつでも主人公の味方でいてくれる癒しの存在。

なぜか、卯子鳥サマという妖異に好かれる。

「えへ、声かけようと思ったら、急に今日は運命の人と出会うなんて言うから……どっきんこしたべさ」

■ストーリー
彼女は、落とし物を探している。

どこか異郷の薫り漂う町、深野市――
そこは、かつてヒトとヒトならざる者、妖異たちがともに暮らした幽玄の地であった。
ゆえに、深野は不思議な者たちの不思議な話に満ちている。

神掛 由岐奈（かみかけ・ゆきな）は、友人とともに
再び、この地を訪れた。

出逢ったのは、魔法使いを名乗る少年、
つまりは僕だ。

むかしむかしの大昔、外つ国から来た魔法使いがいたらしく、
夜羽 睦季（よはね・むつき）は、その後裔を拝している。

水晶石 みだり（すいしょうせき・―）は、ヒトならざる者。
淫魔にとっては死に至る病、恋に落ちてしまう。

猫天宮 花子（ねこてんぐう・はなこ）は、かつて水神に仕えた御使い。
いわゆるトイレの花子さんで、学園内の噂ならなんでも知っている。

小伯 白（こはく・しろ）は、いつでも味方でいてくれる。
魔法も妖異もなんにもわかっていないが、僕にとっては姉のような存在だ。

魔法使いの御役目とは、そんな妖異たちが起こす不思議な事件を解決し、
ヒトと妖異の間に調和をもたらすことにある。

だが、神掛 由岐奈は、僕以上の霊力を持ち、
生まれつき妖異の姿を見ることができる、鬼見の力まで持っていた。

そんな彼女は、落とし物を探している。

彼女と関わることで、
やがて僕自身が魔法に関わるきっかけとなった事件まで
掘り起こされていく。

それはヒトと妖異と魔法使いが織りなす、
長くて短い、一夏のおとぎ話――

■本件に関するお問い合わせ

iMel 株式会社

担当者：高橋 一穂

E-MAIL：support@imel.co.jp
